

2011年度センター試験 理科総合B

第4問

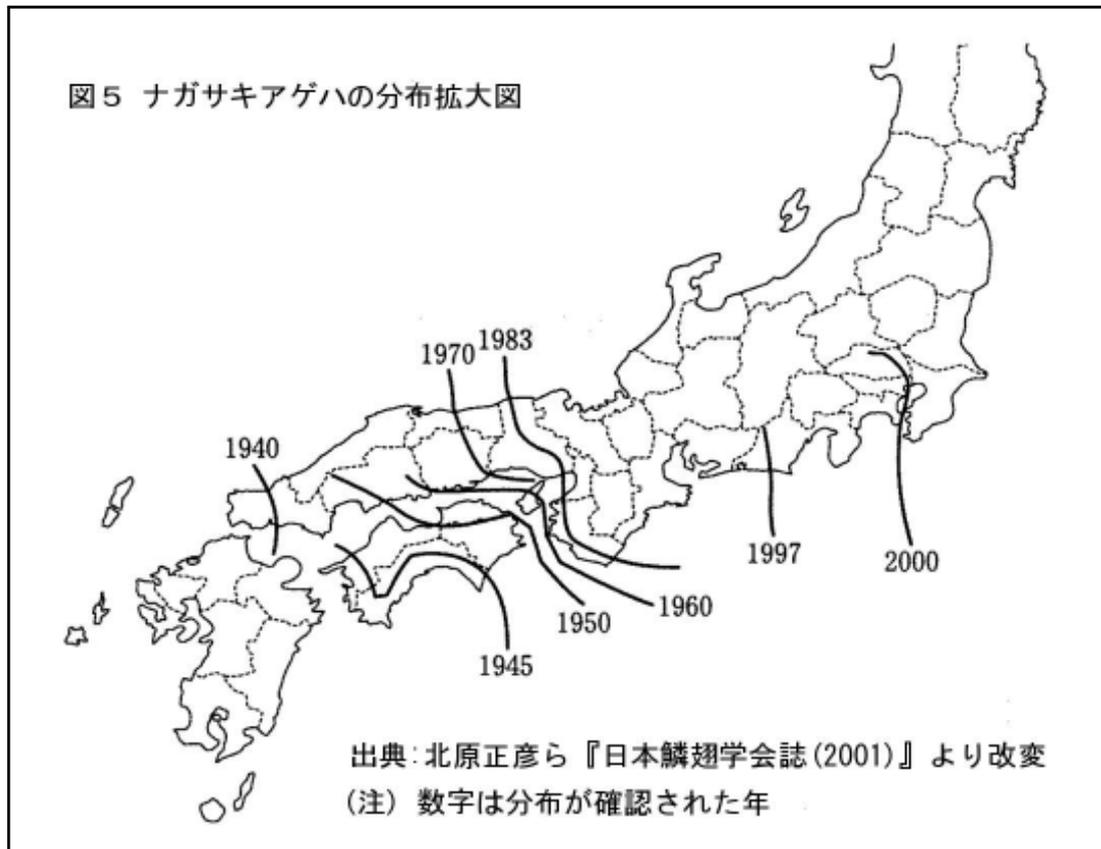
問6 観察を続けると、ミカンの幼木にはナガサキアゲハ(チョウの一種)の幼虫がみられた。二人は、ナガサキアゲハの分布域拡大を示した図5を見つけた。次の文Ⅰ～のうち、図5から読み取れることの組合せとして、最も適当なものを、下の～のうちから一つ選べ。

ナガサキアゲハの分布域は、毎年一定のスピードで拡大している。

分布域拡大の速度は、1950年から1970年よりも、1983年から2000年の方が速くなっている。

四国では、1945年の時点においては、太平洋側の方が瀬戸内海側よりも、分布が東に広がっている。

1945年から約5年間で四国全域に分布が広がった。



I・ I・

正解